

開館三十周年記念展

会津の系譜

（近現代の歩み）



竹久夢二《秋のおとづれ》大正時代 喜多方蔵座敷美術館蔵



春日部たすく《錦繡磐梯》1970年代 喜多方市美術館蔵



渡部菊二《三人》1936年 喜多方市美術館蔵



渡部憲司《街》制作年不詳 個人蔵

2025
7.26sat – 9.7sun

開館時間：10：00－18：00（最終入館 17：30 まで） 休館日：水曜日

観覧料：一般 600 円、小・中・高校生 250 円、65 歳以上 75 歳未満 300 円、未就学児・75 歳以上無料

主催：喜多方市美術館 協力：会津若松市教育委員会、喜多方蔵座敷美術館



喜多方市美術館
KITAKATA CITY MUSEUM OF ART

〒966-0094 福島県喜多方市字押切 2-2
TEL：0241-23-0404 FAX：0241-23-0406
URL：<http://www.kcmofa.com/>



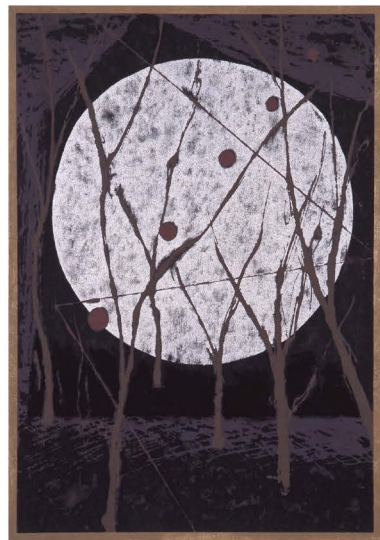
山内神斧《陶村》1918 年個人蔵



石山富彦《並木道》1956 年喜多方市美術館蔵



橋本照《磐梯枯れる》1990 年
喜多方市美術館蔵



長谷川雄一《タルホの夜》1997 年
喜多方市美術館蔵



荒川三郎《ビル街の裏》1957 年会津若松市教育委員会蔵

開館 30 周年記念展 会津の系譜 ～近現代の歩み

喜多方市美術館では開館 30 周年を記念し、「会津の系譜 ～近現代の歩み」展を開催します。

明治後期から大正後期にかけて、多くの作家が喜多方地方を中心に訪れました。大正 7 年には、美術愛好家団体による「喜多方美術倶楽部」が結成され、作家たちの滞在中、制作場所の提供や頒布会を開催するなど、地域の人々と作家の深い交流の場となりました。また、倶楽部の会長であった田代蘇陽は、倶楽部解散後も昭和に至るまで、会津ゆかりの水彩画家たちを支援し続けました。そして、この地域は、多くの個性豊かな作家を輩出し、今日までその系譜が続いています。

本展覧会では、「喜多方美術倶楽部」から現代に至る会津美術の歴史を、当館のコレクションを中心に、日本画や水彩画、当時の資料などを約 50 点展示します。会津地方の豊かな美術史の一端をお楽しみください。

■ 展示作家一覧 (順不同・敬称略)

小川芋銭、石井柏亭、近藤浩一路、竹久夢二、
小川千鶴、山内神斧、酒井三良、湯田玉水、
猪巻清明、菊地養之助、赤城泰舒、相田直彦、
春日部たすく、渡部菊二、佐藤辰治、斎藤清、
渡部百合子、石山富彦、角田行夫、橋本照、
荒川三郎、渡部憲司、長谷川雄一

※都合により掲載作品と展示作品が異なる場合があります。

■ ギャラリートーク

日 時：8 月 30 日 (土) 14:00～
場 所：喜多方市美術館展示室
講 師：増淵鏡子氏
(福島県立美術館副館長)
参加費：無料 申込不要
※当日観覧券が必要です。

■ 学芸員による作品解説

日 時：7 月 27 日 (日) 14:00～
場 所：喜多方市美術館展示室
参加費：無料 申込不要
※当日観覧券が必要です。

■ 30 周年記念缶バッジ

福島県立喜多方高等学校生徒が
デザインした缶バッジを
先着 50 名様にプレゼント！

■ 交通アクセス

- ・ JR 喜多方駅から約 1.5 km 徒歩 20 分 タクシーで 5 分
 - ・ 磐越自動車道会津若松 IC から約 19 km 車で 25 分
 - ・ 磐越自動車道会津坂下 IC から約 20 km 車で 25 分
 - ・ 会津縦貫道喜多方 IC から約 4 km 車で 10 分
- * 喜多方プラザ文化センターの駐車場をご利用ください。



次回展覧会のお知らせ

喜多方の染型紙「会津型」展
-雪国の四季とたのしむデザイン

2025 年 2026 年
12 月 20 日 (土)～1 月 18 日 (日)